

令和2年度 学校目標

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>(1) 有意義な高校生活を送ることができるよう教育課程編成に工夫を凝らし、自ら学ぶ態度と、基礎学力の習得及び希望進路の実現に向けた学力向上に取り組む。</p> <p>(2) 生徒の『主体的・対話的で深い学び』につながる授業改善に取り組む。</p>	<p>(1) 新しい学習指導要領に向けて、さらなる学習意欲の向上・基礎学力の充実のための仕組みづくりをめざす。</p> <p>(2) 組織的な授業改善により、授業の質の向上を図る。</p>	<p>(1) 『学び直し』についての仕組みを見直しつつ、新しい教育課程の編成を行う。</p> <p>(2) 具体のテーマを定め、チームで授業づくりを行い、学校全体で職員研修を行う。</p>	<p>(1) 『学び直し』を中心とした、新学習指導要領に沿った教育課程編成を行うことができたか。</p> <p>(2) 年間を通して、生徒の『主体的・対話的で深い学び』を意識した授業づくりが行われたか。生徒の学習意欲が向上し、学力向上の実感・学力向上に向けた意識が生じたか。</p>
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	<p>(1) 規範意識・社会性を涵養し、自らの判断で社会的な行動をとれる生徒の育成を目指す。</p> <p>(2) 個に応じた生徒指導・支援を充実させる。</p>	<p>(1) 集団指導および個別の指導により、社会のマナーやルールを守り、公共の場で常識的な振る舞いのできる生徒を育成する。</p> <p>(2) 生徒の背景も含めた理解に努め、それらに合った支援策を実践していく。</p>	<p>(1) ・SSE（ソーシャルスキルエデュケーション）の授業でのエクササイズ体験等により、自他を尊重する気持ちと社会性を涵養する。 ・様々な場面で、公共マナーの遵守を呼びかける。 ・学年指導、特別指導において個々の問題に応じた指導を心がける。</p> <p>(2) 課題を抱える生徒の支援をチームとして対応し、関係職員間で生徒の個別理解と情報共有を行う。</p>	<p>(1) ・効果的にSSEを実施できたか。また、SSEの実践を通じて職員の理解が深まったか。 ・様々な場面で、公共マナーについて呼びかけられたか。 ・学年指導、特別指導において個々の問題に応じた指導ができたか。</p> <p>(2) ・生徒が抱える課題を関係職員で情報共有できたか。 ・支援をチームとして行うことができたか。</p>
3	進路指導・支援	<p>(1) 3年間を見通した計画的な進路指導の実践により、生徒一人ひとりの進路希望の実現を支援する。</p> <p>(2) 生徒活動の自主性・主体性を重視することで、生徒が自律的に自立できることをめざす。</p>	<p>(1) 生徒の成長段階に合わせた3年間を見通した計画を作成する。</p> <p>(2) 生徒の自尊感情を養い、自己肯定感を高められる取組みを計画する。</p>	<p>(1) 各学年の成長段階に応じたガイダンスや講演会等を計画する。</p> <p>(2) クラスの親睦と帰属意識をもたせるための行事としてクラス交流会を計画する。</p>	<p>(1) 適切な時期にガイダンスや講演会等を計画できたか。</p> <p>(2) クラス交流会を計画・実施し、生徒の親睦を図り、帰属意識を高められたか。</p>
4	地域等との協働	<p>学校と地域相互の教育力を生かし、地域と連携した学校づくりを推進する。</p>	<p>(1) 広報活動により、本校の特色および活動内容を周知する。</p> <p>(2) 地域交流を通して、本校の教育力を地域に還元する。</p>	<p>(1) 学校HPで本校の活動を発信し、広報活動の充実を図る。</p> <p>(2) 釜利谷サポートチームや生徒会、部活動の生徒と連携し、地域との交流を充実させる。</p>	<p>(1) 行事ごとに新たな情報をHPに掲載できたか。</p> <p>(2) 地域に向けたボランティア活動等を複数回実施できたか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>すべての職員が職場環境を含めた様々な変化に柔軟に対応し、積極的に取り組める持続可能な組織づくりをすすめていく。</p>	<p>(1) 安全管理や教育環境整備を計画的に行う。</p> <p>(2) 生徒の命と健康にかかわる安全、安心に対する意識の向上を図り、防災対策の充実に努める。</p>	<p>(1) 施設の整備を順次進め、学校環境（ハード面）での安全確保を目指していく。あわせて環境美化に取り組む。</p> <p>(2) 安全に関する情報を保護者にHP等で迅速に発信すると共に、大規模地震（南海トラフ等）を想定した具体的・実践的な防災訓練を実施する。併せて横浜市との協定による避難時運営に関して職員との共通理解を図る。</p>	<p>(1) 校内巡視を定期的に行い、教育環境の維持管理につとめ、整備をすすめることができたか。</p> <p>(2) ・安全に関する情報を保護者に迅速に発信することができたか。 ・大規模地震を想定した具体的・実践的な防災訓練ができたか。 ・生徒へのD I G訓練の実施対象が広がったか。</p>